

えいらい

No.19



〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目6-5 TEL / 089-943-1151 FAX / 089-947-0026
発行責任者／院長 山本祐司 編集／松山市民病院広報委員会

新南(S)病棟の第1期工事完成

～永頼会設立50周年を期に

変革と育成～

院長 山本 祐司



平成26年も暦の上では立春を過ぎ、雨水、啓蟄を迎え松山医療圏には早春の息吹が感じられる頃となりました。日頃より、地域医療や介護・保健・福祉に関して、松山市民病院との連携・交流をいただき感謝申し上げます。

当病院の設立は昭和31年6月で、市内が太平洋戦争後の復旧を終え、戦後ベビーブーマー(後の団塊の世代)が小学生だった頃にまで遡ります。当時、アメリカ民主主義教育が盛んで、かのリンカーン大統領の演説にちなんで、市民による市民のための「市民病院」というのが命名のいきさつで、それぞれ民主導の協同組合方式でのスタートでありました。

国民皆保険制度が昭和36年に発足し、地域の医療ニーズに応えるための増床、増改築に対し安定した財政基盤が求められ、昭和39年10月、即ち1964年の東京オリンピックの年、財団法人「永頼会」が設立されました。この「永頼会」の命名は、儒教の古典である書経からの一節「万世永頼」―いつの世までも永く頼りにされる、信頼される存在たれ―に由来します。以来、永頼会は市民病院と乳児保育園事業(昭和42年創立)を継続し、昨年平成25年4月、一般財団法人に移行しました。今年(2014年度)は永頼会設立50周年という節目の転換期にあたり、病院と保育園が建て替えられます。

その第一弾として、今春4月1日に新南(S)病棟の第1期オープンを迎えます。それまでに、2月22日の内覧会と3月21日から23日にかけての引越しがあり、併せて3層4段の自走式駐車場も完成します。職員はそれらへ向けて院内

各部署での摺り合わせと段取りを急いでいる最中であります。

地上7階建ての新南病棟は連絡棟とともに免震構造の上に乗っています。中庭を挟んで既存の北病棟とは各階全て繋がっており、患者搬送や職員移動に安全・安心な動線が得られています。吹き抜けの1階ホールは透明なガラス面を通して中庭や2階待合に臨み、拡がりのある明るい空間を提供します。内装は白の壁面を背景に、受付カウンターや手すりなどは木質調に仕上げられ、落ち着いた雰囲気を感じさせます。各所には、坊ちゃん、マドンナ、松山城に道後温泉本館など松山市を象徴するサインが分かり易く配置されています。その他のフロアーの詳細は、内覧会及び本号特集にてご紹介いたします。

さて、病院のスローガン、今年は「変革と育成」を掲げました。英語で言うとchange and educationです。「変革」は新南病棟や保育園、看護実習棟などの建て替えであり、電子カルテやSPD(物品管理)システムの導入であります。変革の時代には新しい多様な人材の「育成」が必要です。これは診療技術の継承、多様な働き方の尊重、人事考課への適用などにも繋がります。昨年から訪問看護課新設や臨床心理士採用も新たな取り組みとして既に関係各位から評価をいただきました。また、この秋9月には医療機能評価更新のための受審を迎えます。

「変革と育成―変革の時代に応じた多様な人材の育成、change and education」というスローガンを、職場のあらゆる場面で活かしていけるよう、職員一同前進してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



中庭からの新南棟外観